

## 9. てんかん対策の現状と課題ー全国てんかんセンター協議会（JEPICA）の

### 取り組み

全国てんかんセンター協議会事務局 寺田 清人

#### 1. JEPICA とは

全国のてんかんセンターが相互に緊密な連携を図り、全国的なてんかん医療とケアの質の向上を達成する目的で平成 25 年 2 月に設立された組織で、国立病院、大学病院、私的・公的病院を含むてんかん診療施設及び患者会その他のてんかん医療を支援する組織が、相互に緊密な連携を図り全国的なてんかん医療の質の向上を達成するために、中立的な立場で将来にわたり活動する。5 名の運営委員が選ばれている。

#### 2. JEPICA における”てんかんセンター”とは

##### 1) 機能要件

・複数の診療科による診療科の枠組みを超えたチーム治療

・安全管理に配慮した発作時脳波ビデオモニタリング

・てんかん外科適応の判断と外科治療（連携施設での対応を含む）

ができることであり、さらに以下を行うことが求められる。

- ・地域におけるてんかん診療連携ネットワークの構築
- ・地域の 1 次 2 次診療医の教育
- ・治験を含む新薬へのアクセス
- ・患者家族等の教育
- ・社会啓発活動
- ・てんかんの臨床研究

##### 2) 人材（構成員）要件

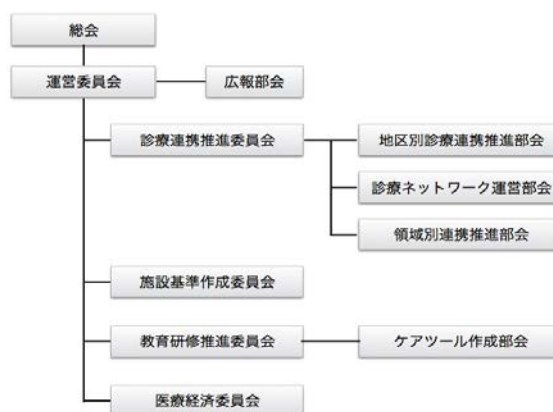
・てんかん専門医もしくは同等の医師（神経内科、小児神経、脳外科、精神科等）

・てんかんに熟達した看護師、脳波検査技師、薬剤師

が必須であり、さらに、

- ・精神科的ケアへのアクセス
- ・神経心理士
- ・ソーシャワーカー

#### JEPICA の組織



- ・リハビリテーションスタッフ
- ・栄養士
- ・教育や福祉の専門職

への適切なアクセスを同施設内あるいは連携施設内にもつことが望まれる。

### 3) 行うべき治療計画（治療目標）

- ・てんかんの診断と治療
- ・内科的併存症
- ・精神医学的併存症
- ・妊娠と出産
- ・認知機能
- ・社会機能
- ・雇用の状況
- ・教育の状況
- ・リハビリテーションのニーズ
- ・患者家族の教育ニーズ
- ・外傷と安全についての評価

を考慮するものでなければならない。

## JEPICAの会員資格・てんかんセンターの基準（改訂中）

1	急性期医療機関としての機能								
	1) 発作・重積に対する急性期医療に対応可能な体制の確保	二次救急医療の機能		○					
	2) 院内の各科連携の確保	院内症例検討会の開催		◎					
	3) 空床の確保	休日・夜間の救急・急性期患者の受け入れ		○					
2	専門医療機関としての機能								
	1) 専門医療相談室の設置	専門医療相談窓口（MSW・PSW）の整備		◎					
	2) 人員配置	てんかん指導医（専門医） 専門看護師 臨床心理士 脳波検査技師 OT/PT/ST 栄養士		◎ ○ ○ ○ ○ ○					
	3) 検査体制	脳波室 TDMと薬剤指導 CT/MRI SPECT MEG PET 神経心理検査 ワダテスト		◎ ◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○					
	4) 外来	てんかん外来		○					
	5) 入院医療体制	てんかん専門病床 EMU（安全マニュアル） 外科治療 特殊治療（ACTH・ケトン）		○ ◎ ◎ ◎ ○					
	6) 症例検討会	術前検討会 症例/EEG検討会		○ ○					
	7) てんかんリハビリテーション体制	リハビリテーション計画作成		○					
	8) 医療スタッフ教育体制			○					
	9) 治験・臨床研究体制			○					
3	地域連携の機能								
	1) 連携協議会（かかりつけ医）	紹介・逆紹介		◎					
	2) 各種研修会			○					
	3) 市民公開講座			○					
	4) その他								
4	年間実績報告								
	1) 外来・入院件数			◎					
	2) 検査件数			◎					
	3) 治療・治験件数			◎					
	4) 外科治療件数			◎					
	5) 医療相談件数			◎					
	6) 研修実績			◎					
	7) 他情報発信			◎					

\*◎は必須、○は目標

### 3. JEPICAの会員資格・てんかんセンターの基準

JEPICAはその目的のため、会員には三次てんかん診療施設として、上記の高度かつ包括的なてんかん診療を求めており、厳しい入会基準がある。このため、正会員は33施設、準会員が2施設しかない。今後も入会資格を緩めないことを確認している。

## JEPICA会員（正会員33施設、準会員2施設）

北海道大学病院てんかんセンター  
 札幌医大脳機能センター  
 中村記念病院てんかんセンター  
 東北大学病院  
 てんかん病院ベーター  
 自治医大病院てんかんセンター  
 土浦協同病院（準）  
 西新潟中央病院てんかんセンター  
 NIT東日本関東病院  
 東京大学病院てんかんセンター  
 順天堂てんかんセンター  
 東京医科歯科大学てんかんセンター  
 東京医科大学八王子医療センター  
 東京都立神経病院てんかん総合治療センター  
 国立精神・神経医療研究センター  
 東京脳神経センター病院  
 日本医科大学武蔵小杉病院

浅ノ川総合病院てんかんセンター  
 愛知てんかんセンター  
 静岡てんかん神経医療センター  
 聖隷浜松病院てんかんセンター  
 京大病院てんかん診療部門  
 宇多野病院  
 近畿大学病院  
 奈良医療センター  
 市立伊丹病院（準）  
 岡山大学病院てんかんセンター  
 広島大学病院てんかんセンター  
 山口大学てんかんセンター  
 徳島大学病院  
 九州大学病院ブレインセンター  
 福岡山王病院てんかん・睡眠センター  
 長崎医療センター  
 藤元メディカルてんかんセンター  
 鹿児島大学病院てんかんセンター

\* 協力団体：日本てんかん協会、ドラベ症候群患者家族会、ウエスト症候群患者家族会

### 4. JEPICAのてんかん診療規模

#### JEPICAのてんかん診療規模

	小児科		成人科	
外来新患数	4298/年	28施設	9343/年	33施設
再来患者数	379.7/日	25施設	864.3/日	30施設
新入院患者数	3679/年	27施設	5937/年	32施設
入院患者数	107.4/日	25施設	242.5/日	29施設

	神経内科	精神科	脳神経外科	小児科	脳波認定技師
医師数	79人	55人	120人	120人	30人

EMUベッド	MRI(1.5T)	MRI(3T)	SPECT	PET	MEG
100ベッド/33施設	22/33施設	25/33施設	29/33施設	26/33施設	14/33施設

	小児科		成人科	
モニタリング患者数	6195人/年	26施設	4482人/年	32施設
頭蓋内脳波患者数	28人/年	8施設	156人/年	24施設

(2015年)

JEPICA の施設で、外来新患は年間約 13,600 名、新入院は年間約 9,600 名と多くを占め、またてんかん手術では、JEPICA 加入 34 施設で 1057 手術が行われており（2015 年）、わが国のてんかん手術の 9 割以上を占める。

## 5. JEPICA の委員会活動

### 1) 診療連携推進委員会

てんかん診療地域連携拠点機関だけでなく、JEPICA35 施設それぞれが各都道府県で地方自治体と診療連携についての折衝を行う準備  
医療以外の施設との連携

### 2) 施設基準作成委員会

てんかんセンター施設基準の改定（てんかん診療の質を高く維持する方向）

### 3) 教育研修推進委員会

医師だけではなく各種のメディカルスタッフへの基礎講座などを開催

各種のマニュアルの整備

てんかんケアツール作成部会

教育ビデオ・資料、脳波モニタリング安全マニュアル、発作対応マニュアル、教育機関向けの教育資料、外国人患者対応マニュアルなどの作成

### 4) 広報部会

診療連携推進のための情報発信

## 6. JEPICA の事業

・JEPICA 総会：年に 1 回行われ、これまで 4 回（静岡、東京、仙台、奈良）行われた。発表演題数は増加し、今年の奈良大会では 90 題以上となった。その 2/3 以上は医師以外の、看護師、薬剤師、検査技師、臨床心理士、医療ケースワーカーなどのメディカルスタッフによる発表であり、医療に関わる多職種が参加し、情報交換する包括医療学会である。

・ふじさん・てんかん脳波ハンズオンセミナー（年 1 回、2016 年に第 3 回）

・てんかん食ワークショップ